

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市南吉成児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 22,347人 (前年度比 104.2%) 平成29年度 21,437人 平成28年度 18,257人 平成27年度 16,939人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 31,548千円 (33,661千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、「帰りの会」以降は本館利用児童とサテライト利用児童と一緒に過ごすデイリープログラムとしたり、高学年児童が考えた遊びで低学年児童も一緒に遊ぶ「ふれあいタイム」を設けたりするなど、異学年交流のための工夫を行い、遊びや生活を通して児童の健全育成に取り組んでいる。また、「連絡カード」「習い事中抜けカード」等を用いて保護者からの変更事項等の申し出を確実に把握しており、児童の安全と保護者の安心につながる工夫を行っている。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>『幼児クラブ』はスタート時に人数が少なく、対象児童の枠を2歳からに拡大したところ、登録者が増加しました。保護者が負担を感じず親子の関わりや友達づくりができるよう、職員がきめ細かなサポートを行っています。低い年齢に合わせた内容の取り組みとなりましたが、親子共々に成長が感じられる活動ができました。後半には子ども同士も「こんにちは」「さようなら」の挨拶ができるようになり、声を掛け合うなど友だちを意識する成長を見ることができました。</p> <p>乳幼児親子が参加する『0ちゃんタイム』では、月2回の活動が定着して来館のリズムができあがり、利用増につながりました。また、不安な表情で参加していた保護者が利用を重ねる中で他の保護者と交流が深まり、子育ての緊張がほぐれ、にこやかになっていく姿を見ることができました。</p> <p>小学校高学年から中学生が中心となって運営する伝統行事こどもまつり『とり+かえっこ』では、実行委員となった子どもたちが地域の方々の支援をいただきながら主体的に活動し、「伝統をつなげ、まつりを成功させよう」という目的を達成できました。反省会でも来年に向け建設的な意見を述べるなど、自分たちの「街づくり」にしっかり取り組むことができました。</p> <p>中学生の利用は少しずつ増えてきていますが、さらにジュニアリーダーに声を掛け、利用の増加と活躍の場を創り上げていきたいと考えています。</p> <p>「吉成・南吉成子育て支援ネットワーク会議」で結びついた諸団体と連携し、多様な企画行事を実践しました。「権現森自然研究会」との連携により、春のハイキングなどを実施し、親子で身近な自然環境を学ぶ活動ができました。「南吉成社会福祉協議会」と共催している『世代をこえて・みんななかよし』を年2回実施して、地域の方々と世代間交流の場を創り、児童館の役割を地域の方々に理解していただきました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>登録制の幼児クラブや自由参加の行事を定期的で開催しており、親子が一緒に楽しんだりする活動、物作り等で母親がリフレッシュする機会、子育てについて専門家に相談する場等、多様なプログラムを提供している。「0ちゃんタイム」は、子育て支援クラブによる託児もあり、母親がほっとできる場となっている。幼児クラブの行事である「夏まつり」「ハロウィン」「クリスマス会お楽しみ会」は、幼児クラブの保護者グループ「グループサロン」が企画運営してきているが、職員によるきめ細かなサポートも行い、保護者の自主的な活動を支援している。</p> <p>小中学生による実行委員が中心となって企画運営する子どもまつり「とり+かえっこ」は、世代間交流の行事として地域に定着している。子どもたちが多世代の人と関わったり、仲間と協力したりする活動の機会となっており、主体性や社会性を育み、子どもも地域の一員であるという自覚を育てる場となっている。また、「吉成・南吉成子育て支援ネットワーク会議」で結びついた地域諸団体と連携し、地域の特色を生かした多様な行事を提供しており、評価できる。児童館が地域と子どもをつなぐ役割を果たしている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室